

放射線医学総合研究所 創立60周年記念講演会

放射線と人に関わる研究 これからも

特別講演

「チバニアンと地磁気逆転」



岡田 誠

茨城大学 理学部
地球環境科学コース 教授



2017. **11.27** 月 13:00 - 16:30
(受付開始 12:00~)

会場 **京葉銀行文化プラザ 音楽ホール** (定員700名)

〒260-0015 千葉市中央区富士見1丁目3-2

入場無料 事前申込不要

主催：QST 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 NIRS

後援：文部科学省、原子力規制委員会、千葉県、千葉市、日本アイソトープ協会、日本医学物理学会、日本医学放射線学会、日本核医学会、日本加速器学会、日本原子力学会、日本獣医学会、日本物理学会、
(予定) 日本放射線影響学会、日本放射線腫瘍学会、日本診療放射線技師会、日本放射線技術学会、日本保健物理学会、日本認知症学会、日本神経精神薬理学会、千葉市医師会 (順不同)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所 創立60周年記念講演会

放射線と人に関わる研究 これからも

放医研は、設立時から放射線による人体への影響、障害の予防、治療・診断ならびに医学利用に関する研究開発を総合的に行ってきました。創立60周年を記念して開催する本講演会では、過去10年間の代表的な研究成果や活動、今後の展望をご紹介します。

また茨城大学の岡田 誠 教授をお招きし、千葉県市原市にある地層を約77万～12万6千年前の基準地とし、その年代名を「チバニアン」(千葉時代)と命名する申請に至った長年の研究についてご講演いただきます。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

プログラム

- 13:00-13:10 開会挨拶：平野 俊夫 量子科学技術研究開発機構 理事長
野田 耕司 放射線医学総合研究所 所長
- 13:10-13:20 来賓挨拶
- 13:20-13:50 「肺がんの治療照射は1日で終わる時代に」
山本 直敬 放医研 重粒子線治療研究部 チームリーダー
- 13:50-14:20 「脳を『見て』病気を治す：生体イメージングによる革新」
樋口 真人 放医研 脳機能イメージング研究部 チームリーダー
- 14:20-15:05 **特別講演** 「チバニアンと地磁気逆転」
岡田 誠 茨城大学 理学部 地球環境科学コース 教授
- 15:05-15:20 …………… 休 憩 ……………
- 15:20-15:50 「子どもに対する被ばくの影響：実験でわかったこと」
今岡 達彦 放医研 放射線影響研究部 チームリーダー
- 15:50-16:20 「被ばく医療と放医研、そして未来へ」
富永 隆子 放医研 被ばく医療センター 医長
- 16:20-16:30 閉会挨拶：島田 義也 量子科学技術研究開発機構 理事

会場 **京葉銀行文化プラザ 音楽ホール**

〒260-0015 千葉市中央区富士見1丁目3-2

アクセス JR千葉駅東口より徒歩3分

※ご来場の際は、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

